

平成 28 年度第 1 回東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議 議事要旨

【開催概要】

1. 開催日時 平成 28 年 7 月 26 日（火）16:00～16:40
2. 場所 本庁舎 5 階 危機管理センター
3. 出席者
本部長 野田市長
副本部長 川口副市長、立花副市長
本部員 各部署長
事務局 企画室 中野、杉本、山田、岡本、浦塘

【議事】

1. まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の平成 27 年度実績について
2. まち・ひと・しごと創生総合戦略への新たな事業の位置づけ
3. その他

【資料】

- 次第
- 《資料 1-1》東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略施策・事業の K P I
- 《資料 1-2》東大阪市観光振興計画
- 《資料 2-1》新たな施策・事業の位置づけ（案）
- 《資料 2-2》東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版（第 2 版）
- 《資料 3》今後のスケジュール
- 参考資料

【会議要旨】

（事務局より案件 1 の説明）

- 《資料 1-1》に基づき事務局より実績報告
- 市内企業の総従業者数 平成 24 年 235,585 人→平成 26 年 248,510 人（経済センサス）
増加要因としては、医療・福祉分野で大きく増加している。
- 新規イベント参加者数は、15,500 人 昨年、花園ラグビー場で開催した さだまさしのコンサートときゃりーぱみゅぱみゅのコンサートの参加者数
- 0～5 歳人口 住基ベースで 22,620 人→21,969 人と減少している。
- 東大阪市への居住意向については、平成 29 年度に調査予定
- 推進する主な事業で平成 27 年度実施したものの実績について説明

- 国内展示会等出展支援事業で目標値商談件数 500 件に対し、実績 1,470 件
- 新たな観光まちづくり事業では、観光振興計画を策定
- まちづくり意見交換会事業と地域まちづくり活動助成事業についても前年度に引き続き実施

★意見等特になし

⇒ 平成 27 年度事業の評価については初年度ということで評価できない部分もあることから平成 28 年度実績と合わせて、今後、評価していく。

(事務局より案件 2 の説明)

- 今回の総合戦略の改訂について、大きく分けて表現方法の修正と新たな事業の位置づけの 2 点
- 表現方法の修正については、公共サインの設置について、従前は市内の観光スポットに案内板という形で特化して記載していたものを、昨年度、公共サインの整理、マニュアル等も作成した中で対象を広げて市内の公共サインを一新し、市民の来訪者の利便性の向上と良好な景観の形成を図るという表現に改めた。
- 17 ページのまちづくり意見交換会事業については、まちづくりに関する意見交換できる事業全般を対象とし、まちづくりに関する意見交換事業に改めた。
- 追加する事業については、17 ページの後段に「施策 2 都市型コンパクトシティの確立」を新たな施策として追加した。現在、本市都市計画において、「立地適正化計画」の策定検討作業が進められているが、この計画は人口減少や高齢者の急増が見込まれる中、市域全体での望ましい土地利用の誘導をめざす「東大阪市版コンパクトシティの確立」をめざしている。
現在の土地利用の混在の解消を図るために、土地利用転換を促す施策を展開するもの。
推進する主な事業としては、「コンパクトシティ形成推進事業」として、本年度は主に都市構造の分析など計画策定の基礎的調査に取組み、次年度以降、工業地での工場を集積するための工業地集積プラン。「良好な市街地形成推進事業」として、住宅地の中で密集市街地の解消をめざした防災空地創出プランの制度構築と展開を予定している。

★意見等特になし

⇒ 都市型コンパクトシティの確立について新たな施策として位置づけ、今後、施策を推進し、事業の進捗状況について検証していくこととする。

(事務局より資料 3 により今後のスケジュールの説明)

(その他として本部員から提案)

- 現在の総合戦略は、特に人口減少に焦点を当てて、いかに人口を維持するかという観点で戦略を構築しているが、人口減少と同時に大きな課題となっているのが人口構成の問題。高齢者の占める割合が高く、現在の本市の高齢化率 27%だが、今後もこの割合は増えると予測され、人口ビジョンに基づく取組みを進めたとしてもピークの 2045 年には 37.3%になると予測されている。高齢者の活躍できる施策を何らかの形でできないかと考えている。これまでもボランティア等で活躍している高齢者は多数いるが、一方で、年金だけでは生活が成り立たないという実態もある。こういったことから、高齢者の就業の促進、就業の支援について今後、関係部局で検討を進め、総合戦略に位置づけていくことも考えたい。
本日は、提案と協力をお願いということで発言させてもらった。

(本部員からの意見)

- 今、提案のあった点については必要なことであると意識して企業等からも情報収集している。
市内企業で、高齢者の雇用について変わった取組みをされているところもあり、現在、調査している段階。
 - 介護保険事業の中で元気な高齢者をヘルパー等として活動してもらえないか考えている。高齢者への就労支援については現実的な問題として今後、相談したい。
 - シルバー人材センターの契約件数は増えているのか？登録者数は減っていると仄聞している。シルバー人材センターも働く場の提供である。
 - 仕事はあるが、会員の近所で仕事がしたいなどの要望があったりでマッチングがうまくいっていない現状があるということは聞いている。
- ⇒ 提案については、今後、総合戦略にどのように位置づけられるかも含め検討することとする。

【本部長である野田市長の挨拶】